

(仮称) 今金町住吉宮島風力発電事業
計画段階環境配慮書
事業者回答 (2次) 別添資料

別添資料 Q1-3 (2次) 相互理解促進

地元自治会の説明会の概要

1. 花石連合自治会

- ・開催日：2023年5月14日
- ・参加人数：15名
- ・主な質問：風車から発生する騒音はどの程度か
 - 周辺住宅との距離や、風速、現況騒音等により聞こえ方が変わる
 - 今後、現況騒音を観測して騒音でのご迷惑をおかけしないような事業を実施する
 - 音の発生原因は、風車羽根の風切り音が主、従来の風力発電機に比べて、最近の風力発電機は騒音が低減されているため、そのような機種を採用も検討している

2. 美利河連合自治会

- ・開催日：2023年5月14日
- ・参加人数：4名
- ・主な質問：檜山沖洋上風力との関係性はあるか
 - 全く無関係で別の事業である
 - ：今金町役場との関係性はどのようになっているか
 - 昨年秋に事業検討の相談を申し上げて以来、2ヶ月に1度程度訪問し事業の現状報告をしている
 - ：風力発電所は美利河地域から見えるのか
 - 風車配置は未決定のため、現時点では風車の見え方はお答えできないが、恐らく部分的に風車が見えると考えている

3. 種川連合自治会

- ・開催日：2023年5月14日
- ・参加人数：23名
- ・主な質問：他社事業の風況観測塔の高さが違うが、標高の関係で違うのか
 - 風況観測塔の高さは設置標高によって選定するというよりも、実際の風車の高さに近づけることができるため、高い方が良いと考えており、約90mの風況観測塔を選定した
 - これまでは約60mの風況観測塔が一般的だったが規制緩和により、今回選定した約90mの風況観測塔が選定できるようになり、選定した